



広報 おんな

平成6年12月1日発行 No.173



主な内容

- 特集……サバイバルキャンプ 村民の大切な財産
新しい住民代表決まる 山田の獅子舞復活
- とびっくす……村伝統芸能祭 安富祖保育所運動会
- VIVA SPORTS……愛知国体で大躍躍
- くらしのかわら版……渡久地政信メロディーを生バンドで
上間さん自宅でミニミニ図書館



松竹梅 “瀬良垣区”

獅子舞が復活－山田区－
**名嘉真の
獅子舞との共演を**

山田区（山田村）に獅子舞が始めて行われたのは、約百十年前の事だと言われています。

言い伝えによると名嘉真村（名嘉真区）に雌雄の獅子があり、山田のコ（がん）と雄獅子と交換したのが始まりだと語られています。

しかし、後継者が育たず途絶えたままになっていました。すばらしい伝統芸能をなくしてはいけないと、今回の復活となりました。青年会の三人は老



豊年祭を陰で支える地謡(しかた)の皆さん “恩納区”



区民から大きな拍手が贈られました。

八月十五夜をまだかに控え、公民館では夜遅くまで豊年祭の練習をする光景がみられました。
これらの芸能は、かつての琉球王府の下で創りあげられたものや、明治以降に庶民に親しみやすいように創作されたものが、うまく調和しながら今日まで私たちの生活に溶けこんできました。
特に組踊りなどは中国から冊封使を歓迎する宴に上演されていました。次第に地方においても上演されるようになり、本村においても奉納芸能として盛んに演じられています。

人会の指導のもと猛練習をし、りっぱな獅子舞になりました。
九月二十日（旧八月十五日）、公民館で行なわれたお披露目では「復活した獅子舞」を一目見ようと公民館に多くの区民が駆けつけました。
糸数区長は「将来は名嘉真の獅子舞との共演を実現したい」と伝統芸能の復活に抱負を語ってくれました。

村内各地で豊年祭



恩納村コーナー、おおいに賑う ～やんばる産業まつり～

10月21日～23日にかけて、名護市民会館周辺の会場で特産物を集め「やんばるの産業まつり」が盛大に行われました。

恩納村からは、生活改善グループ、花卉園芸、はちみつ、陶器、酒、水産加工品など数多くの特産物が展示販売されていました。また「市町村コーナー」では、恩納村の会場に多くの人が訪れ、担当職員は展示物の説明、観光パンフレットの配布にと本村PRに追われていました。



美しい海辺を大切に ～地元のボランティアと意見交流～

海と緑環境美化推進運動（マリンブルー21）をご存じでしょうか。

この機関は、海や海辺の環境汚染が深刻な問題になっているなか、全国各地で自主的に行われている海や海辺の美化活動を支援していくと設立されたものです。

10月16日、この運動のメンバーが沖縄の現状を視察に本村を訪れました。マリップハウスでの意見交換会では、ボランティアで活動を続けている沖縄クリーンビーチクラブの代表エドハインリックサンチェス氏が活動の報告をしました。

「全国的に有名な海岸線を有する恩納村。観光資源、水産資源としても貴重な海岸線をいつまでも残してほしい」と運動の関係者は話していました。



わが子の演技におもわず笑顔

～安富祖保育所で運動会～

安富祖保育所の運動会が11月5日、熱田のゲートボール場で行われました。

会場は園児達の歓声、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんの笑い声で満ちあふれていました。



健やかな子どもを育てる力

～学力向上対策委員会～

9月27日、村コミュニティーセンターにおいて学力向上対策委員会の主催による講演会が根路銘国文氏（本部中学校長）をお招きして「健やかな子どもを育てる力」をテーマに行われました。

同氏は、学校現場での体験から「昔は家庭、地域、学校がバランスよく子どもの成長を助けてきた。」と述べ、この関係が崩れかけていると指摘。「子どもは本来素直な心の持ち主、その無限大の力を伸ばすのも私たち大人」とも述べていました。



あなたの骨は大丈夫

～骨粗しょう症健康教育～

前回の骨粗しょう症についての「保健婦だより」をお読みになりましたか？ 読まれていない方は、是非読まれて下さい。

各公民館において骨粗しょう症についての健康教育が行われました。教室では、まず、恩納診療所の池村精先生による「骨粗しょう症」について話を聞いた後、予防するにはどうしたらよいか。具体的に、カルシウムを多く含んだ料理の実習を行いました。

この病気は、50代からの女性に多くみられると言うことです。…日頃からの健康管理を…



子猿の名演技に拍手喝采

～村伝統芸能祭～

10月9日、村コミュニティーセンターにおいて教育委員会、南恩納区の主催による伝統芸能発表会が開催されました。各字においては豊年祭が盛んに催され、その字独特の芸能を創りだしてきました。

今回は、南恩納の舞踊と組踊り「花売の縁」が上演され、多くの観客が駆けつけ素晴らしい伝統芸能を満喫していました。子猿役（恩納小学校 仲松勝弥君）の名演技には大きな拍手が贈られていました。



大自然へ挑戦

—サバイバルキャンプ—

村教育委員会、子ども会育成連絡協議会主催のサバイバル

キャンプは、村内各学校の五年生を対象に、野外活動や宿泊訓練、遠泳訓練などが行われました。

今年のサバイバルキャンプは、八月二十三日から二十六日の三泊四日で南恩納海岸沖合約一キロメートルに浮かぶ無人島（ヨー島）で行われ、男子二十六人、女子二十七人が参加しました。

また、このサバイバルキャンプには、日和佐町の子供達も参考交流を深めました。

大自然のどまんなか

子供達が乗った船は大きなエンジン音を響かせながら無人島にむかいました。波で船が揺れたりび子供達の歓声が響き、エンジンの音もかき消されていました。

キャンプ場は、島のモクマオ

ウ林の中もあり、ここからは、すべて自分たちの手でやらなければなりません。

さて活動開始です。子供達は、いくつか班に分かれ活動を開始しました。まず、テント設営、シャワー室、調理場作りを終えました。

炊き出しに使うマキの確保に入りました。



うちではお母さんが

大海原へ

慣れないキャンプ生活で戸惑うことと言えば、やはり食事でしょう。しかし、ここでは材料の調達から料理人、マキの確保まで、すべて自分達の手でやらなければなりません。

子供達は役割を分担し、米を研ぐもの、マキを集め火を付けるものなど準備にかかりました。ところが、なかなか火が付かない。火が強すぎて焦げてしまう。

日頃、家庭では母親の準備する食事をただ食べるだけの子供達は貴重な体験をしたことでしょう。

私は、あさい所は泳いだことはあっても、深い所は初めてだったのでビクビクしていました。浜辺につくと、なまぬまとおじさんが、エビにやられ血をだしていました。私が「どうしたの」と聞くと、「このエビにやられた」。といって私が「このエビどうするの」と聞くと、「焼いて食べる」といってエビつかんで、私達のキャンプの所へ帰りました。

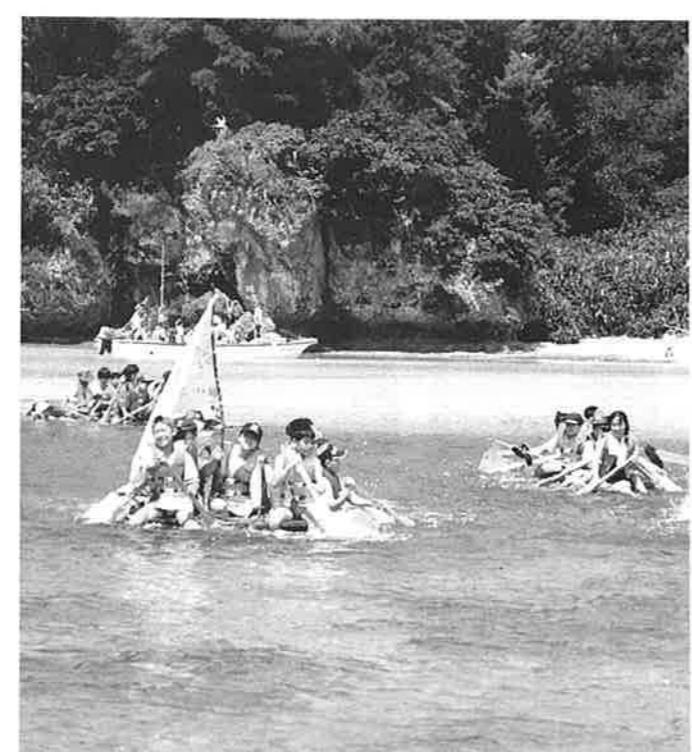
帰ったらすぐに夕飯をつくりました。夕飯はカレーライスでした。カレーライスは初めてで、水をいれて持とうとしたら、半分こぼしました。でもほかのおじさんたちは「おいしい、おいしい」といって食べててくれました。



親睦の火

姉妹市町村で毎年交流を深めている、日和佐町の子供達は、二十四日村内の家庭で民泊し、二十五日の午後、恩納村の子供達と合流しました。

まずは、子供たちは自己紹介した後、各班に分かれ交流会での余興の話し合いで、恩納村の子供達、日和佐の子供達は輪になり、知恵を出し合いました。夕食も終わり、いよいよキャンプファイヤーの時間です。恩納村の子供達は「親睦の火」を囲み楽しい時間を過ごしました。



最後の試練

いよいよ最終日。子供達には最後の試練が待っています。

子供達はイカダを組み立て、家族の待つ船着き場に向けて出発しました。潮にながされたり、向かい風をうけながら悪戦苦闘しながらも約二時間かけやっと到着しました。

真っ黒に日焼けし、たくましくなった子供達も、父母に囲まれほっとした様子でした。

ヨー島に行つたこと

山田小学校 宮里 梓

私は、ヨー島にいって色々なことを体験しました。

初めてやったことはテントたてで、最初はコミュニティーセンターでおじさんたちの見ていて、「かんたん、かんたん」とおもつたが、ヨー島でやってみると、とても難しくてほかの班よりもずっと私達の班が一番ビルで、つぎに食事をしました。あせりおいたあとだったから、とてもおいしくてたまらなかった。

でも食事を食べ終わると、水着とライフジャケットをつけて、浜辺でカヌーを泳ぐかきめました。私は泳ぐことにきました。

夕飯がすむと、体が気持ちわるくておふろにはいりました。おふろの水はつめたくてもがまんしました。夜はつかれて、すぐ寝ました。

この経験をこれから活動にいかしていきたいと思います。

みなさん、おつかれさまでした。

皆さんは恩納村の大切な財産です

九月十五日は「敬老の日」。今年も村内各地で長寿を祝う催しが行われました。

比嘉村長は、村内で「新百歳」「カジマヤー」「トーカチ」を迎えるお年寄りの皆さんを訪問、記念品を贈りました。

「皆さんは、恩納村の大切な財産です。これからも健康に気をつけられ、有意義な人生をお過ごし下さい」とこれまでの労をねぎらつていました。

トーカチ祝い



新百歳長寿者



カジマヤー祝い



年齢別リレー 決勝より

第二十回 恩納村陸上競技大会 —秋空の下 热戦を展開—

恩納村体育協会主催による、第二十回恩納村陸上競技大会が、十月二日、村立赤間運動場で開催されました。各字から選ばれた約六〇〇人の選手が出場。日頃鍛えた力と技をトラック、フィールドの四十四種目に発揮しました。

熱戦の結果、瀬良垣区が陸上総合優勝し、七連覇を飾りました。

主な記録

【男子の部】	
一位瀬良垣(85点)	二位山田(60点)
三位塩屋(59点)	四位前兼久(24点)
五位宇加地(20点)	六位恩納(20点)
五位瀬良垣(64点)	二位山田(51点)
三位恩納(48点)	四位塩屋(44点)
五位宇加地(17点)	六位仲泊(31点)
五位山田(27点)	六位前兼久(16点)

【女子の部】	
一位瀬良垣(53点)	二位瀬良垣(43点)
三位恩納(32点)	四位仲泊(31点)
五位山田(27点)	六位前兼久(16点)

【女子の部】	
二位瀬良垣(14点)	三位恩納(14点)
三位恩納(14点)	四位仲泊(13点)
五位山田(12点)	六位前兼久(11点)



総合優勝の瀬良垣区体協

※もっと走れる「もっと飛べる」と思う方。来年は是非、挑戦して下さい。(一月制限時間二時間)への挑戦もお待ちしています。(陸上部長 登川政利)

平成六年度の村体育協会の競技も無事終了することができました。これも各競技員、関係者の方々のお陰とお礼申し上げます。また、各字体協選手お頼い申し上げます。

(体育協会長 新門信雄)

安富祖打撃戦を制す

～安富祖クラブが3連覇～

恩納村青少年健全育成協議会主催の第23回少年野球大会は8月13日、14日の2日間にわたり11チームが参加し熱戦が展開されました。

決勝戦は、安富祖クラブと恩納クラブの対戦となり打撃戦の末、16対9で安富祖クラブが3年連続優勝を飾りました。



3連覇の安富祖クラブ

山田区がファーストピッチ制す

～壮年ソフトボール大会～

11月6日、赤間グランド、漁民広場で行われた第19回壮年ソフトボール大会は、21チームが参加し。スローピッチ、ファーストピッチの部に分かれ試合を行いました。

スローピッチ部は、塩屋Aと塩屋Bの対戦となり塩屋Aが優勝。ファーストピッチの部は山田区と名嘉真区の対戦になり打撃に勝る山田が優勝しました。



“ファーストピッチの決勝” 山田対名嘉真

愛知国体で大活躍

～本村から3選手が出場～

「いい汗キャッチ！生き生き愛知」を合言葉に第49回国民体育大会（わかしゃち国体）が10月29日から愛知県で開催されました。

沖縄県からは、29競技に324人の選手団が参加しました。恩納村からも陸上競技、バレー・ボーラー競技、ソフトボール競技に3人の選手が出場し、好成績を残しました。

上間静香選手(前兼久区)

少年女子共通3000㍍に出場し全国の強豪選手のひしめく中、県記録を更新7位入賞を果たしました。同選手は仲泊中学校から豊見城南高校に進学。長距離界のホープとして期待されています。



徳元幸人選手(恩納区)

バレー・ボーラー競技に出場し中心選手として第3位の好成績に貢献しました。同選手は全日本ユース代表に選ばれるなど、全国的に注目を集める選手です。



山田俊幸選手(恩納区)

成年男子ソフトボール競技に出場、遊撃手として沖縄県の準優勝に貢献しました。

同選手は平成元年の北海道国体から、6年連続出場しています。



「忘年会・新年会」は
村内事業所をご利用下さい

～恩納村商工会 新年会・忘年会のご案内～

今年も余すところあとわずかとなり、忘年会・新年会のシーズンがやってきました。計画はおきまりでしょうか。

この度、商工会では年末年始において、村内事業所をご利用していただきたく各事業所の「パーティープラン」を準備しております。

つきましては、楽しい忘年会・新年会づくりの参考になるものと存じます。是非、ご活用下さいますようお願い申し上げます。

【お問い合わせ】…恩納村商工会 ☎ 966-8258

第3回 恩納村文化展作品募集

～心の豊かさを求めて～

文化、芸術に対する関心が高まりつつある中、日頃から創作活動に励んでいる村民の作品を一堂に展示し、広く鑑賞する機会をつくり、自らの創作意欲を高め、あわせて村民の文化振興を図る。



○昨年、第2回文化展より

主 催 恩納村文化協会 恩納村教育委員会
会 場 恩納村コミュニティーセンター
期 間 1月25日（水）～29日（日）
応募要領 作品は未発表のもので1人3点以内
募集作品 絵画／彫刻／陶芸／書道／写真／盆栽／華道
手工芸（民芸品・ガラス・染色・手芸等）
募集期間 1月11日（水）～1月18日（水）
（村文化展は1月25日～29日）
対 象 高校生以上の在住者、職を有する者
又は村出身者
詳しくは 社会教育課 966-8506 仲村まで

渡久地政信メロディーを生バンドで
～名誉村民 渡久地政信コンサート（仮名）～

平成7年2月12日（日）、恩納村コミュニティーセンターにおいて「名誉村民 渡久地政信コンサート（仮名）」の開催が予定されています。

「村民が歌う渡久地政信メロディー」を予定しています。

「のどに自信のあるあなた」「我こそは」と言う方はご連絡下さい。（各公民館へご連絡を）

【渡久地政信メロディーは次の中から】

池袋の夜 長崎ブルース 島のブルース

湖 愁 夜霧に消えたチャコ

俺は悲しいんだ 踊子

東京アンナ お富さん

待ちましょう

上海かえりのリル

どうぞ気軽に利用して下さい

自宅でミニミニ図書館

山田1220番地1の上間武夫さんの、自宅の一階の本棚には、約3500冊もの本が並べられています。

上間さんは愛読家。以前、山田共同売店の一角を借りて本の無料貸し出しをしていました。そのとき、新聞で紹介され、村内や県内外から善意で多くの本が贈られてきました。友人が活用してほしいともってきた本もあります。

是非、多くの皆さんにも利用してほしいと「本の無料貸し出し」をしています。上間さんは「皆さんに気軽に利用してほしい」と話しています。



○山田小中学校より多幸山観光へ100m左側です

自治大臣への
提案ファックス
ーふるさとファックスー

この度自治省では、広く国民の皆様から、地方自治団体や地方自治に関する制度をはじめ、地方税、地方財政、選挙制度、地方公務員、消防、ふるさとづくりに向けた地域活性化など地方政府にたいする自治大臣への積極的な提言をいただきました。「自治大臣への提案ファックス」ふるさとファックスを設置しました。

受付時間
03-3581-6987
午前9時～午後6時
問合先
自治大臣官房広報室
03-3591-0279

【相談日】月曜日から金曜日
午前9時から午後4時40分
※電話のご相談もお受けします。
868-8950
【弁護士相談日】
毎月第三金曜日午後1時～4時
〔お問い合わせ〕
沖縄自動車保険
請求相談センター



医療保険の法律が改正され、国民健康保険、老人医療も平成六年十月一日から、入院時の食事療養費の患者負担が変わります。

改正でどう変わるの？

国保や老人医療をはじめ、健保組合など、すべて一日六〇〇円の定額自己負担が導入されました。

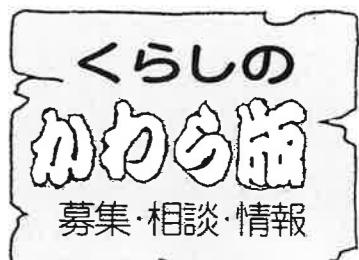
定額自己負担は、加入世帯の区分によって異なります。

※詳しくは、役場国民健康保険担当へ
966-8001（内線110）

※技術を身につけるため、仕事につく前に技術を身につけることが必要な場合には、公共職業能力開発施設において、専門の指導員のもとで、職業訓練を受けることができます。

※仕事や職場環境になれるため就職に先立って、仕事や職場環境になれるために、事業所内で訓練を受けることができます。

※婦人就業援助センター
那覇市久米2-30-1
868-4380



交通事故の事で
お困りのことは

交通事故の態様も複雑化して、その解決にお困りの方も多いこと存じます。全国五十四カ所に「自動車保険センター」を設置し、自動車損害賠償責任保険並びに任意自動車保険の請求について、一切無料でご相談をお受けしております。



入院時の患者負担
が変わります

母子家庭の就業促進
母等の就業促進
母子家庭の母や寡婦であって、一家の生計の担い手とした仕事をつくることを希望している方のため、労働省では、次のような窓口や制度を設けておりますので、ご利用ください。

家庭婦人等が、気軽に立ち寄って、就職のための相談をしていて、仕事についていろいろな情報をることができます。
※技術講習
就職に当たって有利な資格や技術を身につけるための技術講習を受けることができます。

就業相談

